



新製品情報

より高温燃焼 の万能焼却炉

なった。

DAITO

DAITO (本社・愛知県瀬戸市、井上滋樹社長) は9月から、廃プラスチックにも対応した万能焼却炉「SPZ」シリーズを販売している。効果率の向上の鋼板、耐火写真。今年3月に発売した製品を基本設計から見直し、焼却能力を増強。さらに高温燃焼が可能と

幅削減④集じん室の設計改善を通じた消煙・集じん能力の向上——など。

新製品の焼却能力は、従来品が1時間当たり18〜29キログラムだったのに対し、29キログラムに増強。大型投入口タイプのSPZ、強力消煙タイプのSPZ II、スチックにも対応した方があり、特長は①燃焼用エアの最適化による燃焼効率の向上の鋼板、耐火材壁の厚みアップによる耐久性向上③新型投入扉を採用し、本体との隙間から出る未燃焼ガスの大

価格は、焼却能力1時間当たり39キログラムのSPZ

500が298万円、

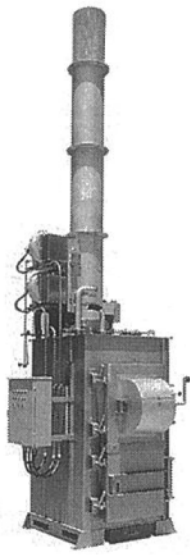
SPZ II・500が278万円。同49キログラムのSPZ

600が350万円、

SPZ II・600が330万円 (いずれも税別)。

運賃・取り付け費は別途。

製品は中小企業経営強化税制が適用可能で、焼却炉の構造に関する全ての法規制に適合。全国各地で開催している展示会で、実機の見学や燃焼テストが行える。問い合わせ先は同社お客さま窓口、電話0120(21)3136。(坂 勇人)



新たに販売しているSPZ II-600

3136。(坂 勇人)